時代的背景 2

第1章 藤原惺窩——江戸儒学思想の開祖 …… 5

1 儒学史の中の惺窩とその生涯／2 朱子学の人間形成論と惺窩学／3 教育史の中の惺窩

第2章 中江藤樹——近江聖人、江戸陽明学者の嚆矢 …… 13

1 中江藤樹の足跡とその学問形成／2 陽明学と藤樹学／3 教育史の中の藤樹

第3章 伊藤仁斎——「日本的」儒学の一範型 …… 21

1 仁斎学の形成と京都町衆の文化的・学問的環境／2 仁斎学の構造と特質——その朱子学説との対峙／3 教育史の中の仁斎と仁斎学

第4章 雨森芳洲——近世の異文化理解と朝鮮外交 …… 29

1 雨森芳洲の儒学思想／2 対馬藩の藩儒として／3 異文化理解の理想と現実

第5章 荻生徂徠——儒教道徳の批判的再構成 …… 39

1 "儒教道徳"への問題提起／2 古文辞学と「君子」の理想／3 「君子」の道徳・「小人」の風俗／4 経世論への展開

第6章 貝原益軒——「楽」を伝える養生論と養育論 …… 47

1 生い立ち／2 藩士としての活動／3 学問への誘い／4 「楽」について

第7章 石田梅岩——「倹約」の伝道活動 …… 55

1 開講に至るまで／2 儒者の立場から／3 「倹約」の思想／4 「聖

人ヲヒキ受ル」

第8章　本居宣長――共感と寛容の教育思想……63

1　宣長の青春と古代への憧憬　2　「もののあはれ」論　3　鈴屋社の教育

第Ⅱ部　幕末・明治時代

時代的背景　74

第1章　緒方洪庵――新しい学問と教育……79

1　蘭学塾と緒方洪庵　2　適塾の教育　3　適塾の思想

第2章　吉田松陰――幽室における決死の教育……89

1　生い立ちから獄中まで　2　獄中から幽室まで　3　再入獄まで　4　刑死まで

第3章　福沢諭吉――「文明化」の先導者の光と影……97

1　幕末・維新期　2　明治初期　3　明治中期　4　福沢をどうとらえるか

第4章　新島襄――私立する精神と良心教育……105

1　憂鬱なる青春　2　脱国とアメリカ生活　3　新島襄の教育思想

第5章　西村茂樹――新たな国民道徳をめざして……115

1　西村茂樹の思想的立場　2　西村における「道」の意味　3　「聖学校」の構想　4　西村と「教育勅語」

第6章　森有礼――国民的主体創出のための教育……123

1　欧米へ　2　啓蒙思想家として　3　公使として清国と英国に駐在　4　文政家として

第7章　津田梅子――異文化に触れた女子留学生……131

1　異国への出発　2　帰国後のとまどい　3　再び留学　4　女子教育への夢

第8章　嘉納治五郎 ― 師範教育の使命と精神 …… 139

1　文武両道の青春　2　「柔道」の発見と学習院への奉職　3　師範教育への献身　4　嘉納の挑戦と挫折

第9章　元田永孚 ―「国教」の提唱者 …… 147

1　熊本での研鑽　2　宮内省出仕　3　国教論の提唱と「教育勅語」　4　元田とその時代

第10章　井上哲次郎 ― 世界道徳と国民道徳の狭間で …… 155

1　「哲学者」井上の理想と現実　2　キリスト教徒との論争と日本の自覚　3　国民教育への着目と国民道徳

第11章　伊沢修二 ― 音楽教育の創始から吃音矯正事業へ …… 163

1　官吏になった「理八」小僧　2　近代教育の開拓者 ― 端緒を啓き適任者を待つ　3　国家主義と合理主義に基づく教育実践者

第12章　牧野富太郎 ― 学歴を持たない植物学者 …… 173

1　小学校での植物学への目覚め　2　経済困窮の中で不滅の研究　3　花や草木とともに90年の活躍

第Ⅲ部　大正・昭和時代

時代的背景　182

第1章　成瀬仁蔵 ― 女子教育のパイオニア …… 187

1　聖書を持つ青年　2　女子教育への関心　3　日本女子大学校の創設

第2章　倉橋惣三 ― 日本の保育理論の構築者 …… 195

1　フレーベル研究者として　2　誘導保育論の形成　3　戦時下における国民幼稚園の主張　4　戦後の保育論 ―「誘導」から「自発」へ

第3章　及川平治 ― 教職の覚醒を引き起こした大正新教育運動の指導者 …… 205

1　目の前の子どものために　2　大正新教育運動の社会的背景と教師の役割　3　方法意識の形成　4　カリキュラム理論の受容　5　及川の果たした役割

第4章　城戸幡太郎 —— 生活主義と[illegible]児教育 ……213

[illegible]

第5章　安倍能成 —— 戦後教育の形成[illegible] ……221

[illegible]

第6章　長田　新 —— [illegible] ……231

[illegible]

第7章　天野貞祐 —— 道理を尊び，道理を[illegible]教育改革の実践者 ……241

1 [illegible]　2 [illegible]　3 [illegible]
4 [illegible]

第8章　林　竹二 —— 教育の再生をもとめて ……251

1 [illegible]　2 [illegible]　3 教育再生[illegible]

第9章　遠山　啓 —— 数学教育改革運動を推進した教育者 ……261

1 数学を研究する[illegible]　2 数学教育の[illegible]者　3 数学教育改革運動の[illegible]者　4 民間教育運動の実践者　5 競争原理を批判する

第10章　無着成恭 —— 戦後民主主義教育の申し子 ……269

1 教育の道を選択する　2 [illegible]学校の頃　3 [illegible]科学主義を目指して　4 [illegible]
[illegible]

コラム

[illegible] 38
[illegible] 72
[illegible] 88
[illegible] 174

柳田国男――民俗学の父が語る子――人前になる教育　180
羽仁もと子――よりよい教育，よりよい生活を子どもに　194
山本鼎　児童自由画と農民美術に懸けた夢　204

年　表　277
人名索引　296
事項索引　298

注：本文中の年月は，1872（明治5）年12月3日の太陽暦への改暦以前は陰暦の年月を使用し，年号（西暦）の表記とし，以降は西暦（年号）とした．また，人物の年齢については第Ⅰ部・第Ⅱ部では数え年を，第Ⅲ部では満年齢を用いた．